家庭学習のすすめ

第八中学校ブロック

（鶴指小　平田小　大和田小　第八中）

～小学校版～





＜親・先生は子どものサポーター＞

＜家庭学習のすすめ方＞

①担任から出る「宿題」を最初にやるようにしましょう。

②時間が余ったら，宿題以外の学習に取り組みましょう。

（家庭で約束したもの，「こんなことを…」の中から選んだもの，自分で考えたもの）

③どうしても勉強に飽きてしまうときは，読書やお絵かきでも構いませんので，必ず毎日机に向かうようにしましょう。**机に向かう**という習慣が大事です。

④勉強が終わったら，次の日の準備をしましょう。

＜担任（学校）と連絡を取り合いましょう＞

①いろいろな点で個人差があるのが当たり前です。わからないこと・困ったことなどは小さなことでも相談してください。より良い学習方法を一緒に考えましょう。

②家庭で頑張っていることなども，どんどん担任に教えてください。

③家庭と担任（学校）が連携していくことで，子どもたちの良さをさらに伸ばしていきましょう。

※この「家庭学習のすすめ」を，家庭でもどんどん活用しましょう。

平成２４年度作成

低学年（１・２年）基本的な学習習慣を身につけよう

低学年（１・２年）では…

「早寝早起き」「規則正しい食事」「朝の排便」など基本的な生活習慣を身につけることが学習習慣の定着にはかかせません。家族の助けを借りながら，がっこうでの学習を受け学習内容や方法を決め，出来たことをほめることによって興味・関心を引き出し，意欲を高めることができます。

家庭学習のめやす
10～20分

ポイント

①子どもの学習に関心をもちましょう！

「家でも勉強するんだ」という気持ちを育てましょう。

・少ない時間でもいっしょにやってみましょう。
・いっしょにできないときは，あとで必ず目を通して声をかけましょう。

②学習環境を整えましょう！

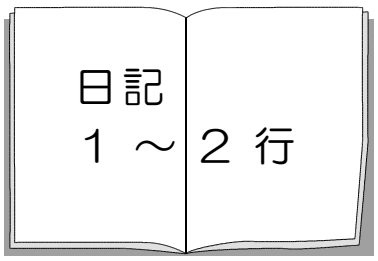
学習机やテーブルなど，「いつも決まった場所」をつくりましょう。

・テレビは消します。せめて音量を下げるように家族が協力しましょう。
　子どものやる気につながります。

③家庭と学校との協力を大切にしましょう！

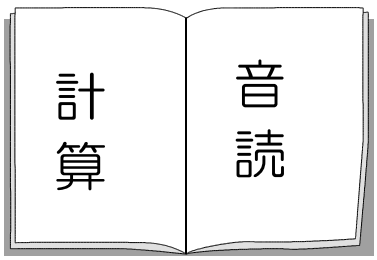
学校からの連絡や，お便りをいっしょに確かめましょう。

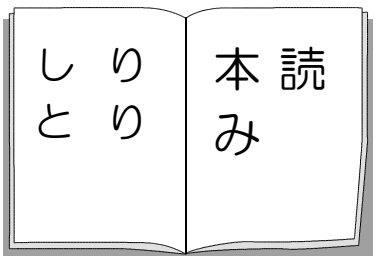
・毎日，連絡帳を開いてサインをしてください。子どもも担任も安心します。





こんなことをしてみてはいかがでしょうか！





中学年（３・４年）自主的な学習習慣を身につけよう

中学年（３・４年）では…

自立心が芽生えてくるとともに，自分でやろうとすることが多くなり，「やる気」や「根気」が育つ時期です。語彙（言葉）の獲得能力が高くなり，抽象的な試行ができるようになると言われています。

「急に勉強が難しくなった」という戸惑いや苦手意識を持つ子どもも出てきます。自信を持たせたり，意欲をふくらませたりするような励ましが必要です。

ポイント

家庭学習のめやす
30～40分

①子どもの学習に関心をもちましょう！

がんばりを見逃さず，励ましの言葉をかけましょう。

・わからないところはいっしょに考えてみましょう。

・子どものちょっとしたがんばりをほめましょう。

②学習環境を整えましょう！

学習を始める時間をいっしょに決めましょう。

・テレビやゲームは家族で話し合って時間を決めましょう。

③家庭と学校との協力を大切にしましょう！

学校からのお便りを家族に手渡す習慣をつけましょう。

・置く場所を決める，食事の時に渡すなど約束を決めましょう。



高学年（５・６年）自学自習の学習習慣を身につけよう

高学年（５・６年）では…

　生活リズムの乱れは学習習慣にも影響を及ぼします。もう一度，生活習慣を見直して計画的に学習を進めることが重要です。

　学習に対する意欲や興味・関心を高めるために，先生や家族の言葉がけが大切になります。目標を決めて，努力できるように，あたたかく見守りながら励ましましょう。

ポイント

家庭学習のめやす
50～60分

①子どもの学習に関心をもちましょう！

計画を立てて，自力で学習を進めるよう見守りましょう。

・子どものちょっとしたがんばりを褒めましょう。

・よその子と比べないで，昨日のわが子と比べてほめましょう。

②学習環境を整えましょう！

自分に合った生活リズムをつくりましょう。

・夕食前，早朝など，学習に取り組む時間帯を決めましょう。

③家庭と学校との協力を大切にしましょう！

思春期を迎え，悩みも増えます。心配なことがあったら，担任の先生に相談しましょう。

・家庭でも学校でも，子どもの話をよく聞きましょう。

